

安全確保や住民の理解

条件整えば検討

がれき処理で四日市市長



記者会見に臨む四日市市の田中俊行市長＝四日市市役所で

【四日市】四日市市の田中俊行市長は十一日の記者会見で、東日本大震災で発生したがれきの受け入れに関し、安全性確保など条件

が整えば検討する考えを示した。「市として住民の意見を聞いたり、どの範囲での協力が可能か検討する用意はある」と述べた。

ただ、埋め立ては「(可能性は) ほぼゼロだ」と物的に不可能との認識を重ねて強調。焼却については安全性や地域住民の理解、焼却灰の受け入れ先確保を条件に、「埋め立てに比べれば可能性はゼロでない」と含みを持たせた。併せて、受け入れる際には住民説明会など、関係者からの意見聴取が必要との意向を示した。

九日の市長会の結果や、県の安全基準を受けて、どこまで協力できるかしっかりと検討したい」と語った。

その上で「四日市としても何らかの協力はしたいとの気持ちは強く持っている。一定の方向性が出る十